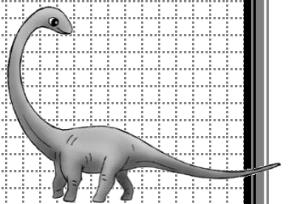


ねん がつ
2023年7月

ちしつ
地質 — No. 27

けんぱくものしりシート

プロタニソセラス ハナイイ



むずか
難しい名前だわ。これは
なん
か
何の化石かしら？

おもしろ
面白い形をして
いる化石だね。
うみ
海に近い田野畠
むら
村で産出してい
るから、もしかし
て、海の生物の化
せき
石かな？

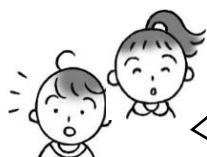


【プロタニソセラス ハナイイ】

ちゅうせいだいぜん きはくあき やくおく まんねん おくねんまえ
中生代前期白亜紀(約1億4500万年～1億年前)
岩手県下閉伊郡田野畠村



ケンくんは、するどいわね。実は、アンモナイトの仲間の化石なのよ。



え？ うそー。アンモナイトの仲間だとは思わなかつたなー。私たちが知つ
てているアンモナイトは、カタツムリのようなうず巻きの形をしているよ。

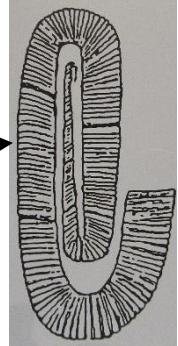
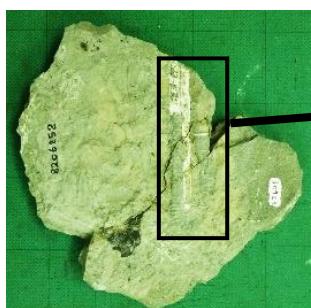


そうよね。多くの人がイメージ
するのは、このアンモナイトの
形よね。



うず巻きの形とは異なり、うず巻き
がほどけたような形やクリップ
のような形をしたアンモナイトもあ
るのよ。それらをまとめて異常巻き
アンモナイトというの。では、異常
巻きアンモナイトをいくつかご紹
介しましよう。

いじょうま 異常巻きアンモナイト(全て岩手で産出)



②は、【プロタニソセラス ハナイイ】
おなと 同じケースに展
てんさが示しているよ。探
してみてね！

①【イディオハミテス】

②【ポリップチコセラス】



かつて、異常巻きアンモナイトは、奇形(生まれつきの異常)や病気による変化と考えられたこともありましたが、その後の研究により、こうした形が一定の規則性に基づいて形づくられたものであることがわかつてきたのよ。



それぞれ、決まった形のパターンがあったということなのね。



そうなの。そして、色々な形の違いはそれぞれの生息している環境に適応するためとも考えられているのよ。



へー。生活しやすいように形を変化させたのかもしれないね。色々な種類のアンモナイトがいることがわかつたよ。



そして、今回紹介した、このプロタニソセラス ハナイイは、2018(平成30)年に新種として認定されたのよ。



新種？ それはすごいね！ これからまだまだ新しい種類のアンモナイトが見つかるかもね。どんな形のアンモナイトかな。これからも楽しみだなあ！

アンモナイト基本情報

イカやタコの仲間。古生代デボン紀(約4億1900万年～3億5900万年前)に地球 上に出現し、中生代白亜紀末(約6600万年前)に絶滅。



参考文献 土屋健 2015年『生物ミステリーPRO白亜紀の生物 上巻』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPにてバックナンバー公開中！

けんぱくものしりシート
『プロタニソセラス ハナイイ』

2023年7月発行 地質—No.27

■参考文献

- ・ 土屋健 2015年『生物ミステリーPRO 白亜紀の生物 上巻』
- ・ 猪郷久義他 2011年『ニューワイド学研の図鑑 鉱物・岩石・化石』